

兄弟って素晴らしい

松本 穰太郎
まつもと じやうたろう

僕の家はリビングの真ん中に太い柱が一本あります。僕の家の大黒柱です。僕は一歳八ヶ月の弟と、その柱の周りをグルグルと追いかけて回り回るのが今一番楽しい遊びです。

弟は僕の名前をさげびキヤッキヤとしながら追いかけてきます。口からは最近少なくなっただれが出るほど大興奮です。

遊んでいる僕たちを、お父さんとお母さんは、いつもにこにこしながら見ています。なぜか分からないけれど僕はそういう時間が大好きです。

家族が三人から四人に増え、赤ちゃんだった弟が一步二歩と歩けるようになり、走れるようになり、昨日まで出来なかったことが出来るようになったりと毎日弟といると新しい発見ばかりです。弟がいなければ、こんな気持ちを感じることは出来ませんでした。

弟がお母さんのお腹の中にいる時から今まで、たくさんがまんしなければいけないことがあります。毎年行っていた旅行やキャンプなどです。とても残念で納得出来ない時もありましたが弟の笑顔や真っ白でフワフワな頬を見ると不思議とがまんできます。そして最近、弟の存在ががまんするということを教えてくれるのかなと思います。家族のために何かをがまんするということは、あたりまえなことだけれど少しむずかしい。でも、出来た時は家族みんなが笑顔にな

れる、そう思います。がまんすることの大切さを教えてくれた弟に感謝したいです。

僕が学校から帰ってきて、つかれていると、僕の名前を呼びながら走ってきて、にこにこの笑顔を見せてくれます。その笑顔を見ると、なぜだか、つかれがどこかに飛んでいってしまうような気持ちになります。

笑顔というのは、良い風邪だと思えます。風邪も人にうつります。笑顔も見た人に、どんどんうつって楽しい気持ちになります。

弟はまだ、たくさん話すことが出来なくて上手に動くことも出来ません。しかし、「笑顔」を見せてくれることによって、周りを笑顔にし、楽しませてくれる。そんな、素晴らしい存在です。

僕は、弟がとても大好き。言葉で表そうとしても、表しきれないぐらい大好き。もつと弟が大きくなったら、喜びも悲しみも、わがちあえる兄弟になれると思っています。

毎日、家族に笑顔を、喜びを、とどけてくれてありがとう。そしてこれからも、たよりないお兄ちゃんかもしれないけれど、よろしくお願ひします。

そんな気持ちで、今日も、にこにこ笑っている弟をだっこしています。